

本県における上水道施設の耐震化の状況について (令和5年度末時点)

令和5年度末時点における県内上水道施設の耐震化（耐震適合）率を調査した結果、次のとおりでしたのでお知らせします。

1 耐震化（耐震適合）率

県内における上水道施設の耐震化（耐震適合）率は、**浄水場が68.1%（全国6位）、配水池が72.8（同9位）%、基幹管路が34.7%（同33位）**でした。

	本県			全国平均			R5年度末 全国順位 (R4年度末)
区 分	R5年度末 (%)	R4年度末 (%)	増減	R5年度末 (%)	R4年度末 (%)	増減	
浄水場	68.1	65.2	+2.9	44.4	43.4	+1.0	6位(7位)
配水池	72.8	71.7	+1.1	64.7	63.5	+1.2	9位(9位)
基幹管路	34.7	33.6	+1.1	43.3	42.3	+1.0	33位(33位)

2 耐震化（耐震適合）率の増減について、主たる要因は次のとおりです。

(1) 浄水場【対前年度比2.9ポイント増】

〔新居浜市、大洲市、西予市において、施設更新を実施したことによる。〕

(2) 配水池【対前年度比1.1ポイント増】

〔宇和島市において、耐震診断を実施し、新たに耐震性を有する施設が確認されたことによる。〕

(3) 基幹管路【対前年度比1.1ポイント増】

〔今治市、宇和島市、内子町等において、積極的に耐震化工事を実施したこと等による。〕

3 浄水場及び配水池の耐震化率は、全国的にも高水準にある一方、基幹管路の耐震適合率は、以下の理由を背景に低水準にとどまっている。

- 浄水場や配水池の耐震化を優先している市町が多いこと
- 山間部等に小規模な集落が点在し、施設の集約化等が困難なこと
- 市町の財政状況が厳しいこと 等

このため、県では、各市町等に対して、耐震化に係る補助金の活用や耐震化計画策定の促進等、限られた財政の下でも水道施設の耐震化における効率的かつ効果的な整備を進めるよう、適切に助言していきます。